

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼに関する研究」を行っています。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、甲状腺クリーゼで入院された方

【研究課題名】JROAD/JROAD-DPC を用いた急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼにおける重症化因子・治療法解明のための多施設登録研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 浅海 泰栄

【研究の意義・目的】甲状腺クリーゼは、多臓器不全を呈し生命の危機に直面しうる緊急治療を要する疾患であり、心不全を合併した甲状腺クリーゼは致死率30%程度と予後不良であると報告されています。その中には大動脈内バルーンポンピングや静脈脱血-動脈送血体外式膜型人工肺などの経皮的機械循環補助が有効な症例があると考えられますが、どのような症例に適しているかはまだ明らかではありません。本研究は、治療に際し機械的循環補助を必要とする急性心不全を合併した甲状腺クリーゼの特徴を究明し、治療に反映させる目的で実施します。収集したデータは国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センターにて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

【利用する診療情報】施設ID、入院年月日、性別、退院年月日、退院先、退院時転帰、入院から24時間以内の死亡の有無、身長、体重、要介護度、低栄養の有無、摂食・嚥下機能障害の有無、主傷病名、入院契機傷病名、入院時併存症、続発症、手術、手術日、持参薬使用状況、入院時ADLスコア、退院時ADLスコア、入・退棟時機能的自立度評価法、退院時modified Rankin Scale、入院時Japan Coma Scale・Glasgow Coma Scale、院内・院外心肺停止の有無、入院中のショックの存在、入院時SOFAスコア・APACHE2スコア・Burch-Wartofskyスコア、NYHA心機能分類、心不全発症時期、収縮期・拡張期血圧、心拍数、心調律、入院時死亡、入院時死亡（7日以内）、入院時死亡（30日以内）、入院後脳出血・脳梗塞・心筋梗塞、年齢、年齢区分、チャールソンスコア傷病マスタ(心筋梗塞、心不全、末梢血管疾患、脳血管疾患、認知症、慢性肺疾患、リウマチ、消化性潰瘍、肝障害、糖尿病、片麻痺、腎障害、がん、HIV)、採血データ(肝臓機能、腎臓機能、血算、凝固、B型ナトリウム利尿ペプチド、血液ガス分析、甲状腺機能、甲状腺受容体抗体)、採尿データ、入院時左室駆出率、院内処方各種(入院前・退院後)、入院時併存症、IABP使用、

Impella®使用、VA-ECMO 使用、持続的血液濾過透析法(continuous hemodiafiltration: CHDF) 使用、血漿交換使用およびそれら使用日数、甲状腺摘出術の有無、ICU 滞在日数、入院 DPC 点数、医療費。

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2028 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、特定の個人を直ちに識別することができないよう加工されており、原則として個人を特定できない情報です。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 研究補助員 吉岡 由子
平田 千穂

TEL : 06-6170-1070 (内線 40271・40455)